

# 「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 1 日

事業名称		住宅施策推進事業費 [空家等対策事務]							
予算科目	款 8	土木費	項 4	住宅費	目 1	住宅管理費	事業番号	10	
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input checked="" type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)								
担当部署・課長名	都市づくり(都市計画) 課			地域整備 係		課長名	梅山 直人		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	4 - 2		
【施策名】 良好な住環境の形成						総合計画書(ページ)	87		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	主に住宅の空家 →			約233棟(平成31年度東大和市空家実態調査)					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
適正に管理されている状態 →			約233棟(平成31年度東大和市空家実態調査)						
③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
空家等対策計画に基づく空家の適正管理に関する取組の実施 ※令和3~4年度 空家等対策計画策定 →			取組の種類(空家等対策計画策定後の想定) ①周知・啓発に関する取組 ②支援に関する取組 ③準備会、庁内検討会議及び懇談会の開催回数						
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	
	対象指標	①の数値	棟	/	/	233	233	233	
	成果指標	②の数値	棟	/	/	233	233	233	
	目標	②の目標値	棟	/	/	/	/	233	
		目標値設定の考え方 適正に管理されている空家の棟数を目標値として設定する。							
活動指標	③の数値	①項目 ②項目 ③回	/	/	①0 ②0 ③5	/	/		
3 経費	事業費(実績)		円	/	/	1,950,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)		
	財源	一般財源	円	/	/	975,000			
		特定財源(国・都・他)	円	/	/	975,000			
		(うち受益者負担)	円	/	/	0			
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	/	/	0.5			
		所要人数(再任用)	人	/	/	0.0			
		職員人件費(再任用以外)	円	/	/	4,125,000			
職員人件費(再任用)	円	/	/	0					
事業費+人件費		円	/	/	6,075,000				
4 環境変化等	(1) 開始年度	令和3 年度							
	(2) 環境の変化	空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、東大和市空家実態調査の結果を踏まえ、空家等に関する対策を総合的かつ計画的に実施するため、空家等対策計画を令和3年度及び令和4年度の2カ年で策定する。 令和3年度は、計画策定に向けた準備会、庁内検討会議及び懇談会を設置し、庁内関係部署との情報共有・連携を図りながら専門的な知見や市民意見を反映し、「空家等対策の基本的な方針(案)」を策定した。 令和4年度は方針を踏まえ空家等対策計画を策定し、令和5年度以降に計画に則った対策を実施していく予定である。							

事業名称	住宅施策推進事業費〔空家等対策事務〕					
担当部署・課長名	都市づくり（都市計画）	課	地域整備	係	課長名	梅山 直人

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について					
	（懇談会の主な意見） ・空家対策には、空家になる前の対応が重要である。 ・自治会や専門団体など多くの団体と提携して、空家対策に取り組むことが重要である。					
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）					
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ  <input type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法：⑧公募市民委員を含む懇談会の開催  【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）				
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 懇談会の開催などにより、引き続き市民協働に取り組みながら空家等対策計画を策定する。					
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） 令和3年度新規事業					
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 なし					
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） なし					
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名：良好な住環境の形成 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）					
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 市の空家の実情に応じた空家等対策を効果的に実施するために空家等対策計画を策定する。					
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 懇談会などの意見を聴取し、多角的かつ専門的な視点から空家等対策計画を策定する。					